

令和4年7月11日（月） 場所 委員会室

○出席議員

議長	青木 健	日本共産党	高原 幸雄
副議長	藤田 貴裕	公明党	小口 俊明
自由民主党	遠藤 直弘	新しい議会	藤江 竜三
社民・ネット・緑と風	重松 朋宏		



○議会事務局職員

議会事務局長	内藤 哲也
議会事務局次長	古沢 一憲



○協議事項

◎議長挨拶

議題 1. 決算特別委員会について

- (1) 特別委員会の設置について
- (2) 特別委員会の日程について
- (3) 正副委員長の選出について
- (4) 特別委員会の資料について

2. 令和4年第3回定例会の議事運営について

※ 本会議における出席説明員の座席について

※ 第33回東京都道路整備事業推進大会について

※ 女性活躍・男女共同参画の重点方針2022（女性版骨太の方針2022）に係る情報提供について

◎議長挨拶

○【青木健議長】 どうも皆さん、こんにちは。参議院選挙でお疲れのところ、本日の会派代表者会議に御出席を頂きまして誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症も、B A. 5というんですか、オミクロン株の変異種というんですか、それが爆発的な勢いで、今、感染が拡大しているようでございまして、本日も感染予防のため窓を開けたりとか、予防措置を取りながら会派代表者会議をさせていただきたいと思いますので、ぜひ短時間で実りのある御議論をお願いさせていただきたいと思います。

それでは、これより会派代表者会議を開催させていただきます。



議題1. 決算特別委員会について

- (1) 特別委員会の設置について
- (2) 特別委員会の日程について
- (3) 正副委員長の選出について
- (4) 特別委員会の資料について

○【青木健議長】 まず、議題1、決算特別委員会について、これは事務局から説明をお願いします。議会事務局長。

○【内藤議会事務局長】 それでは、決算特別委員会の説明をさせていただきます。

まず、(1)でございます。決算は、先例によりまして、議長、監査委員を除く全員構成による決算特別委員会を設置いたしまして、そこに付託し、審査をするのが例となっております。先例に倣いまして決算特別委員会を設置されますよう、御確認をお願いいたします。なお、決算特別委員会の設置手続につきましては、先例に倣いまして、議会運営委員会において協議を頂きまして、本会議において決定をしていただくこととなります。

次に、(2)でございます。決算特別委員会の日程につきましては、年間日程の日程調整の中で確認をさせていただいております。10月3日の月曜日、4日の火曜日、6日の木曜日、7日の金曜日の4日間で行うという案でございます。

次に、(3)の正副委員長の選出につきましては、前例では委員長は与党第1党から、副委員長は野党第1党から選出することとなっております。なお、それぞれ選出がない場合には、委員長は与党内から、副委員長は野党内から選出することとなっております。正副委員長の届出につきましては、第3回定例会に向けての議会運営委員会前日の8月23日火曜日までに事務局へ御連絡をお願いしたいと存じます。

最後に、(4)の特別委員会の資料についてでございます。資料につきましては、各会派におきまして、特別委員会で使用する資料ということで内容を御精査いただきまして、7月21日木曜日の正午までに文書にて事務局へ御連絡をお願いしたいと存じます。要求のありました資料につきましては、期日までに間に合うかを担当部と調整した後、議長、副議長と内容を精査させていただきまして、9月26日月曜日までに各会派の控室に配付する予定でございます。

説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

○【青木健議長】 説明が終わりました。ありがとうございます。ただいまの局長の説明のとおり、正副委員長の選出は8月23日火曜日までに事務局に届出をしていただきたいと思います。

それから、資料についてですが、7月21日木曜日の正午までということですので、そちらのほうもよろしくお願いを申し上げたいと思います。なお、委員会質疑で使用する資料ということで、26市の資料や複数年の経年資料、あるいは分析を求める資料でありましたり、公開されている資料につきましては御精査をしていただきたいと思います。いろいろ御協力いただいておりますが、引き続きよろしくお願いを申し上げたいと思います。

決算特別委員会については以上でございますが、何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。重松議員。

○【重松朋宏議員】 また、委員会の資料の締切りが早まった感じがするんです。まだ決算の概要が全く分からない状態での資料要求締切りということになるんですけども、概要のようなものってこの時点で……。予算のときもそうなんですけども、概要がない状態で資料要求をしようとする、とにかくなるべく緻密に押さえておかななくてはというふうになってしまうんですけど。

○【内藤議会事務局長】 申し訳ないです。概要のほうはどの時点で云々というのは、すみません、現在把握してない状況でございますが、この日にちはこの何年間かの中ではそれほど早い締切りの日時ではなくて、同程度の提出の締切日に事務局のほうではさせていただいております。これは会派代表者会議で御熱心に御議論いただいたときに、市長部局といいますか、作成者側の期間を長く取って働き方改革や残業代の削減を求めている市議会として、作成時間を長く取ろうという会派代表者会議の確認に基づきまして、非常に古い時代よりは締切りが早めになっているということはあるんですけど、この5年ぐらいではほとんど7月の末日に締切りをさせていただいているというのが現状でございます。現状は以上でございます。

○【重松朋宏議員】 何かまとまったものは特になんかということですかね。予算のときは、ちょうど予算説明を受ける前後だったりもしたので、たしか。今年は多少の期間を置いていただいたんですけども、ベースとなるものが——決算なので、昨年1年間の予算書ですとか、補正予算書ですとか、何があったのかということの思い出せば大体の想像はつくことはつくんですけども、何かまとまったこういう事業はこれぐらいで執行したという概要のものって……。

○【青木健議長】 予算は、確かに各会派に予算の説明というのが事前にあるんですけど、決算についてはそれは行われてないですから、概要というものについては、特段それは御用意がないだろうと思います。例年、それがいい中で資料要求をされておりますので、参考までにとということで、昨年、令和3年の資料の目録をつけさせていただきますので、これと併せて御判断を頂きたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「結構です」と呼ぶ者あり）

ありがとうございます。そうしましたら、決算特別委員会につきましては、先ほどの議会事務局長の説明のとおりでよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

ありがとうございます。それでは、そのように進めさせていただきたいと思います。



議題2. 令和4年第3回定例会の議事運営について

○【青木健議長】 続きまして、議題の2でございます。令和4年第3回定例会の議事運営についてに入らせていただきます。議会のコロナウイルス感染症対策につきましては、これまで様々な方法を取り入れて対応してまいりました。現在、コロナウイルス感染症の状況は、大変な増加傾向になりつ

つあるようでございます。8月までその動向を注視していく必要があると考えております。本日は、現時点での議会のコロナウイルス感染症対策について、意見交換をさせていただきたいと考えております。皆さん率直な御意見としていかがでしょうか。

私のほうから先に申し上げさせていただきますと、コロナウイルスが終息の方向にあるのであれば、第3回定例会につきましては第2回定例会より緩和できる部分については緩和をしたいなと思っております。ただ、ここ何日間かが爆発的な増加傾向にありまして、対前週比で2倍とか3倍とかという数字が出てきておりますので、今の時点で、私のほうとしたら第2回定例会以上の緩和ということについては案はないんですが、率直な御意見を承らせていただければと思いますが、いかがですか。遠藤議員。

○【遠藤直弘議員】 前回も同じことを私申し上げたんですけれども、緩和をしていくのであれば2類から5類に変わったタイミングなのかなと思っていました。今、終息傾向であったとしても、そういうふうにいる中で拡大傾向になっているところを見ますと、第2回定例会と同等程度の形での運営がいいのかなと思っています。

○【重松朋宏議員】 前回、一定緩和してもよいんじゃないかという意見を6月議会の前に申し上げさせていただいたんですけれども、今回もやっぱり状況が分からないので、これを緩和すべきだとも、今のままでいくべきだともまだ言いづらいなと思ひまして、確かに今、増えているんですけれども、逆に第3回定例会のときには減少局面かもしれないですし、第3回定例会の議事運営についての機会をせっかく早く持っていただいたので、それぞれコロナ禍でしていることについて、こういう状況だったら緩和できるんじゃないか、あるいはこれは当面しっかりやっておいたほうがいいんじゃないかというのを、それぞれの会派、交渉団体の中で意見交換した上で、次の会派代表者会議の状況を見ながら持ち寄ってみてはいかがでしょうか。

○【青木健議長】 もちろんそのつもりでおります。ですから、今日は現時点における率直な御意見ということで、次回につきましてはこれから日程調整をさせていただきますが、8月10日頃に会派代表者会議を開催させていただきまして、第3回定例会の議事運営についてお話をさせていただきたい。そこでこういう方向というのが決まれば、それを議運のほうで諮っていただきたいと思います。私の方では思っております。ですから、今の時点での率直な御意見どうですか、皆さん。

○【藤江竜三議員】 今の時点ということであれば、緩和していくのは難しいかなと考えています。この増加傾向の中で、市職員の方々ももしかしたら課丸ごと感染してしまうという状況、今、本当に可能性として高くなってきたのではないかなと思います。

それとともに、今後については部分的に緩和できる部分というのも出てくるかもしれないですし、また今、コロナ禍で議会運営の在り方が少し変わっておりますけれども、コロナが終息したとしてもそれを今後も続けていく部分というのものもあるかと思ひますので、そういったところを含めて、次回以降しっかり話し合えればと考えています。

○【小口俊明議員】 この時点で、先ほど議長からお話のあったような、今、拡大の傾向の状況という認識で申し上げますと、第3回定例会において緩和を模索ということにはならないだろうと思ひます。ということであるならば、一つ一つのコロナ対策において、ここは緩和ができるかな、どうかなという検討にも入れないかなというふうな今の段階では思っております。

まずは、この状況が落ち着く方向性が見えたときに、初めて緩和の議論をしていくんだらうと思ひますから、この段階で増加傾向ということにおいてはこれまでどおりの対策を継続していく、それ

をベースに考えていくべきじゃないのかなと思います。

○【**高原幸雄議員**】 今の状況でというのは、私は情報が、テレビのニュースぐらいしか情報源がないんですよ。あれを見ていると、お医者さんの方は第7波だと言っている方もいるし、中身を見ると、重症化してないということも一部言われているということもあるので、じゃ、緩和していいのかというと、短絡的にそういう結論だけ出すというのも、これも十分な対応を間違うんじゃないかというふうに思いますので、だからそういう点では、さっき議長が言われたように、第3回定例会の直前でもう一回会派代表者会議なり開いて、そこできちっと結論は出すにしても、今の段階では今までの対策を踏襲するという対応でいくしかないんじゃないかと思うんですけど。

○【**重松朋宏議員**】 私も会派で全く話ししてないので何とも言えないんですけども、確かにこれから大きな波が来ると報道されている一方で、重症者は低く抑えられているという報道もありますし、何らかの制限は当面はまだ考えられてないという報道もあるようで、ちょっと判断がつかないところもあるんです。けれども、議会全体のことに関わることなので、会派会議もしくは1人会派も含めて、緩和していくにせよ、このままでいくにせよ、強化するにせよ、どこかで検討しなきゃいけないかなと思います。

今日、たまたま5会派のうち3会派の1人会派の方も傍聴で来られているので、会派代表者会議なので、この会の中ではオブザーバー発言ってちょっと難しいとは思いますが、意見をもしよかったですら聴いていただければと思います。

○【**青木健議長**】 今日、私、決めるということで、そういうつもりではございませんから、その辺は御理解いただきたいと思います。現状においてお持ち帰りいただいてお話を頂くにしても、他会派の今の段階での意見というものを聴きいただいて、その上でお持ち帰りいただきたいという意味でございますので、ぜひその辺はお願いしたいと思います。それと、これから御意見を聴かせていただくことになると思いますので。

今日、実は私、テレビ、たまたま車を運転しながら、映っていたので耳で聞いていたんですけど、東大の専門家の先生が、オミクロン株というのは気道のほうで増殖をする、増えるウイルスだったのが、今度のBA.5というのは肺のほうでかなり増殖率が高くて、重症化のリスクはこっちのほうが高いんだということを言われていたのをちょっと聞いたものですから、そうすると今、まだオミクロン株の中で、5人のうち1人ぐらいがBA.5か何からしいんですけど、世界の中で見ていると、これが徐々にBA.5にかなり置き換わってきているということらしいので、日本においてもそうなるとなると、ワクチンを打っていても重症化率が高くなるような話ですので、そうならないように願っているわけです。そういうこともちょっと含めて、今後、新たな第7波というんですか、突入しているんだかどうか私も判断はできないんですけど、そういうことに対応というか、考えを巡らさなきゃいけないのかなと思います。

○【**遠藤直弘議員**】 重症化も大事なんですけど、例えば職員が軽症でも、かかると何日間かは登庁できないということになると、それが例えば、今回、ある野球の球団が初めは監督からなくなって、恐らく軽症だと思うんです。分からないですよ。でも、そうすると球団がそれで機能しなくなる。それが役所の中で起こったときに、市民に対してどういう影響があるのかということを考えていかなきゃいけないと思うので、それは重症化ということではなく、なることがまずいのかなというふうに考えます。

それで、例えば症状がなくても、結果、PCR検査を受けたらそうですってなると、それは留め置

きというので、何日間というのには決まっているものなので、2類から5類というのがしっかりと整理されない限りは難しいのかなと私は感じています。

○【藤田貴裕副議長】 今の段階では何とも言えないのが本心ですので、各会派から今、いろんな意見が出されておりますので、それを持ち帰って、また改めて議論すればよろしいかと思えます。

○【青木健議長】 じゃ、ここで暫時休憩とさせていただきます。

午前2時21分休憩



午後2時31分再開

○【青木健議長】 それでは、休憩を閉じて会派代表者会議を再開させていただきます。

休憩中に、まず次回の会派代表者会議の日程について決めさせていただきましたので、確認をさせていただきたいと思えます。次回につきましては、8月10日午後1時半、13時30分からということで開催をさせていただきたいと思えます。それと、休憩中に1人会派の皆さんからも御意見を賜りました。それも含めまして、各会派の意見をそれぞれお持ち帰りいただきまして、10日までの間に御協議を賜りたいと思えますが、よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

では、そのようにさせていただきたいと思えます。

それでは、2番の令和4年第3回定例会の議事運営についてを終了とさせていただきたいと思えます。



※ 本会議における出席説明員の座席について

○【青木健議長】 それでは、続きまして、本会議における出席説明員の座席について、議会事務局より御説明願います。議会事務局長。

○【内藤議会事務局長】 それでは、御報告いたします。会派代表者会議資料の議席表を御覧ください。組織改正に伴いまして、7月1日付人事発令により、教育部長の出席説明員座席を従前のおり配置いたしました。記載のおりでございます。以上でございます。よろしく願いいたします。

○【青木健議長】 教育次長から教育部長に名称が変更になったということでございますので、座席については変わりはありません。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)



※ 第33回東京都道路整備事業推進大会について

○【青木健議長】 続きまして、第33回東京都道路整備事業推進大会について。議会事務局長。

○【内藤議会事務局長】 毎年10月に開催されております東京都道路整備事業推進大会、いわゆる道路大会でございますけれども、今回も書面開催との通知が参りました。例年、議長と建設環境委員会の正副委員長に御出席を頂いているところでございますけれども、今回、書面開催となりますので、よろしく願いいたします。以上でございます。

○【青木健議長】 書面開催ということでございますので、御了承願いたいと思えます。



※ 女性活躍・男女共同参画の重点方針2022（女性版骨太の方針2022）に係る情報提供について

○【青木健議長】 続きまして、女性活躍・男女共同参画の重点方針2022（女性版骨太の方針2022）に係る情報提供についてということでございます。資料を御配付させていただいておりますので、会派の皆様にもお伝えいただきますようお願い申し上げます。この件はよろしいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

最後に、私のほうから報告でございますが、先般の第2回定例会の最終日に意見書案を議決していただきました。これを先週の金曜日、副議長と一緒に東京都に参りまして、本橋巧都議会議員の御紹介を頂きまして、流域下水道の部長さんと課長さんのほうに御説明をさせていただき、直接手渡しをさせていただきました。先方からは、下水道のほうとも今後協議をさせていただきたいという御返事を頂いてまいりました。

なお、これだけでは多分進まないんだろうなというふうに私も思っております。これは自民党の話になって恐縮なんですけど、東京都議会の自民党の中で三多摩島嶼部会というのがございます。その三多摩島嶼部会長が今、立川市の清水孝治都議会議員でございますので、昨日お会いしたときに、こういうことを国立市として議決して、意見書として東京都に提出をさせていただきました。ついては、三多摩島嶼部会の皆様方にも御支援を頂きたいので、後日、改めて書面をお持ちしながら説明をさせていただき、御協力をお願いしたいということを申し伝えまして、全面的な協力をしていただけるといふ御返事も頂いております。

あわせて、同じ自民党ですが、自民党の三多摩議員連絡協議会というのがございます。190人ぐらいいかな、今、会員数で。その会長が八王子市の市議会議員でございますので、これも先日お会いする機会があったものですから、そちらのほうでも三多摩格差の問題として、この点について取り上げてほしいということで、改めて役員会の中で私のほうで御説明をさせてもらいたいが、よろしいでしょうかということ、説明の機会をもらえるとこの御了解を頂きましたので、併せて御報告させていただきたいと思っております。

それと、これはまだ行ってないんですが、東京都市議会議長会、今、会長が東村山市の土方議長でございますので、この議長会のほうにもその問題を提起させていただき、三多摩格差の是正の一つの問題として取り上げてもらうように、これから働きかけをさせていただきたいと思っておりますので、御報告だけさせていただきたいと思っております。以上でございます。よろしいでしょうか。

○【重松朋宏議員】 下水道局長ですか。

○【青木健議長】 流域下水道。

○【重松朋宏議員】 流域下水道の部長と。

○【青木健議長】 部長です。

○【重松朋宏議員】 地元選出の都議会議員の方の紹介ということですがけれども、うちの会派の市議と関係のある都議がもう1人、この地域で選出されていますので、今後はその方も同席するような形で要請をしていただければと思います。その上で、議長が精力的に自民党の中でも議長会に向けて働きかけていただいているので、私たちもそれぞれのネットワークを通じて働きかけていきたいと思っております。

○【青木健議長】 ありがとうございます。

◇

○【青木健議長】 それでは、以上でございます。

これもちまして会派代表者会議を閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。

午後 2 時 3 9 分閉会